

CBS 250 または 350 シリーズ スイッチでのファームウェアのアップグレード

目的

ファームウェアは、スイッチの動作と機能を制御するプログラムです。デバイスが機能するためにプログラムコードとデータが保存されているソフトウェアとハードウェアの組み合わせです。

ファームウェアをアップグレードすると、デバイスのパフォーマンスが向上し、セキュリティの強化、新機能、バグ修正が可能になります。このプロセスは、次の問題が発生した場合にも必要です。

- 頻繁なネットワーク切断またはスイッチを使用した断続的な接続
- 接続速度が遅い

このドキュメントの目的は、スイッチのファームウェアをアップグレードする方法を示すことです。

適用可能なデバイス | [Software Version]

- [CBS250 \(データシート\)](#) | [3.0.0.69 \(最新バージョンをダウンロード\)](#)
- [CBS350 \(データシート\)](#) | [3.0.0.69 \(最新バージョンをダウンロード\)](#)
- [CBS350-2X \(データシート\)](#) | [3.0.0.69 \(最新バージョンをダウンロード\)](#)
- [CBS350-4X \(データシート\)](#) | [3.0.0.69 \(最新バージョンをダウンロード\)](#)

🌟 Best Practice:

ファームウェアをアップグレードする前に、設定をバックアップします。これを行うには、メニューで Administration > File Management > File Operations の順に選択します。実行コンフィギュレーションのコピーをPCにダウンロードします。デバイスのファームウェアアップグレードをリモートで実行することは推奨されません。

スイッチのファームウェアのアップグレード

ファームウェアのアップグレード

📌 Note:

先に進む前に、上記の適切なリンクからスイッチの最新のファームウェアをダウンロードしてください。または、『[How to Download and Upgrade Firmware on any Device](#)』の手順に従うこともできます。コマンドラインインターフェイス(CLI)を使用してファームウエ

アをアップグレードする場合は、上部のトグルボタンを選択しますを参照。

手順 1

スイッチのWebベースのユーティリティにログインし、Administration > File Management > Firmware Operationsの順に選択します。



Administration 1

System Settings

Console Settings

User Accounts

Idle Session Timeout

▶ Time Settings

▶ System Log

▼ File Management 2

Firmware Operations 3

手順 2

File Operationsページで、次の操作を行います。

- Operation TypeとしてUpdate Firmwareオプションボタンをクリックします。

- Copy MethodとしてHTTP/HTTPSオプションボタンをクリックします。
- File Nameでは、Choose Fileをクリックし、コンピュータから以前にダウンロードしたファームウェアファイルを見つけます。


Firmware Operations

Active Firmware File: image_cbs_ros_3.1.0.57_release_cisco_signed.bin
Active Firmware Version: 3.1.0.57

Operation Type: **1** Update Firmware
 Backup Firmware
 Swap Image

Copy Method: **2** HTTP/HTTPS
 USB

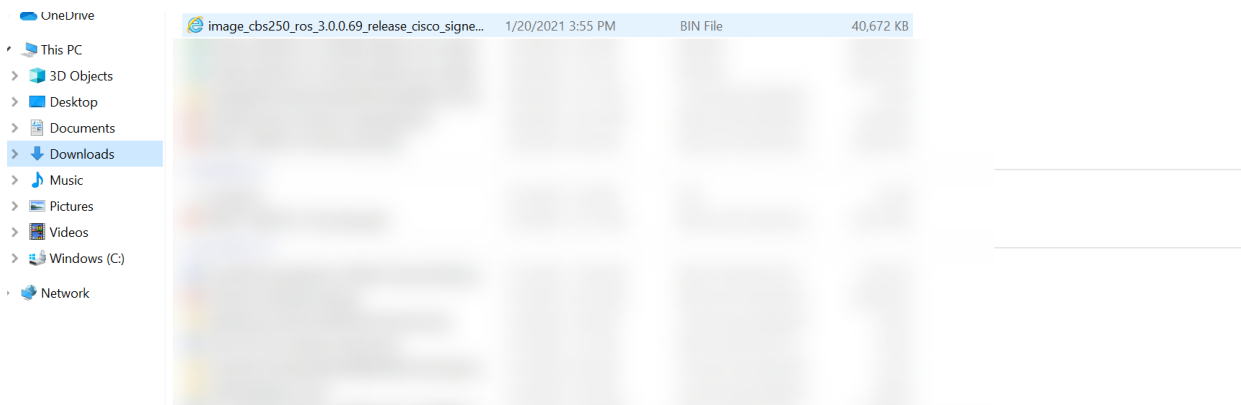
3 File Name: No file selected.



Note: USBフラッシュドライブを使用してスイッチにファームウェアを転送する場合は、USBを選択します。

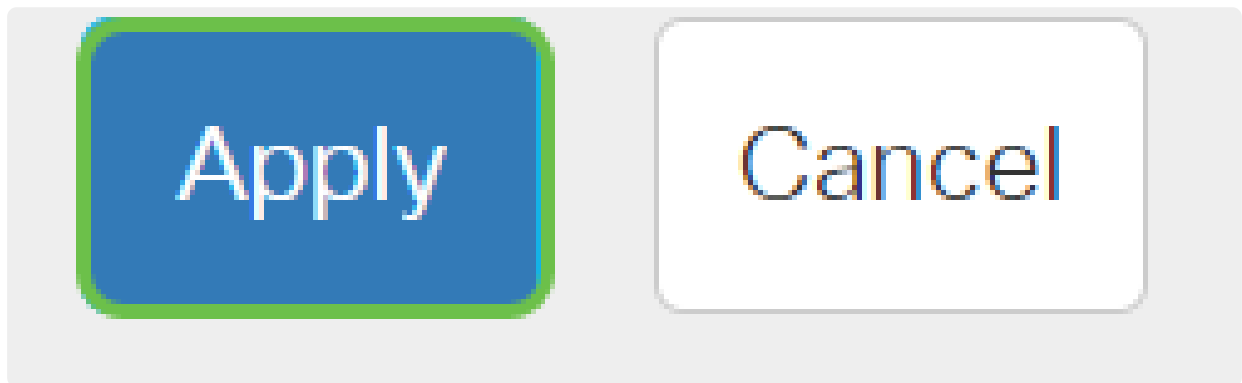
手順 3

ファイルを選択し、Openをクリックします。



手順 4

[APPLY] をクリックします。



スイッチのリブート

アップグレードされたファームウェアバージョンを適用するには、スイッチをリブートする必要があります。

手順 1

Administration > Rebootの順に選択します。

1

Administration

System Settings

User Accounts

Idle Session Timeout

▶ Time Settings

▶ System Log

▶ File Management

Cisco Business

Dashboard Settings

コンテンツを含む記事スケルトン

目的

ファームウェアは、Cisco Business 250または350シリーズスイッチの動作と機能を制御するプログラムです。デバイスが機能するためにプログラムコードとデータが保存されているソフトウェアとハードウェアの組み合わせです。

ファームウェアをアップグレードすると、デバイスのパフォーマンスが向上し、セキュリティの強化、新機能、バグ修正が可能になります。このプロセスは、次の問題が発生した場合にも必要です。

- 頻繁なネットワーク切断またはスイッチを使用した断続的な接続
- 接続速度が遅い

Cisco Business 250または350シリーズスイッチのファームウェアは、Webベースのユーティリティまたはコマンドラインインターフェイス(CLI)を使用してアップグレードできます。

この記事では、CLIを使用してCisco Business 350シリーズスイッチのファームウェアをアップグレードする方法について説明します。初心者の場合は、Webユーザインターフェイス(UI)を使用してファームウェアをアップグレードできます。Web UIを使用してCisco Business 250または350シリーズスイッチのファームウェアをアップグレードするには、上部のトグルボタンをクリックしますを参照。

適用可能なデバイス | [Software Version]

- [CBS250 \(データシート\)](#) | [3.0.0.69 \(最新バージョンをダウンロード\)](#)
- [CBS350 \(データシート\)](#) | [3.0.0.69 \(最新バージョンをダウンロード\)](#)
- [CBS350-2X \(データシート\)](#) | [3.0.0.69 \(最新バージョンをダウンロード\)](#)
- [CBS350-4X \(データシート\)](#) | [3.0.0.69 \(最新バージョンをダウンロード\)](#)

CLIによるCisco Business 250または350シリーズスイッチのファームウェアのアップグレード

最新のファームウェアのダウンロード

アップグレードプロセスの準備として、まずスイッチの最新のファームウェアをダウンロードします。

上記の適切なリンクを使用して、ファームウェアの最新バージョンへのリンクを選択します。

最新のファームウェアをダウンロードするための手順を追ったガイダンスが必要な場合は、『[New to Cisco Business: How to Download and Upgrade Firmware on any Device](#)』をご覧ください。

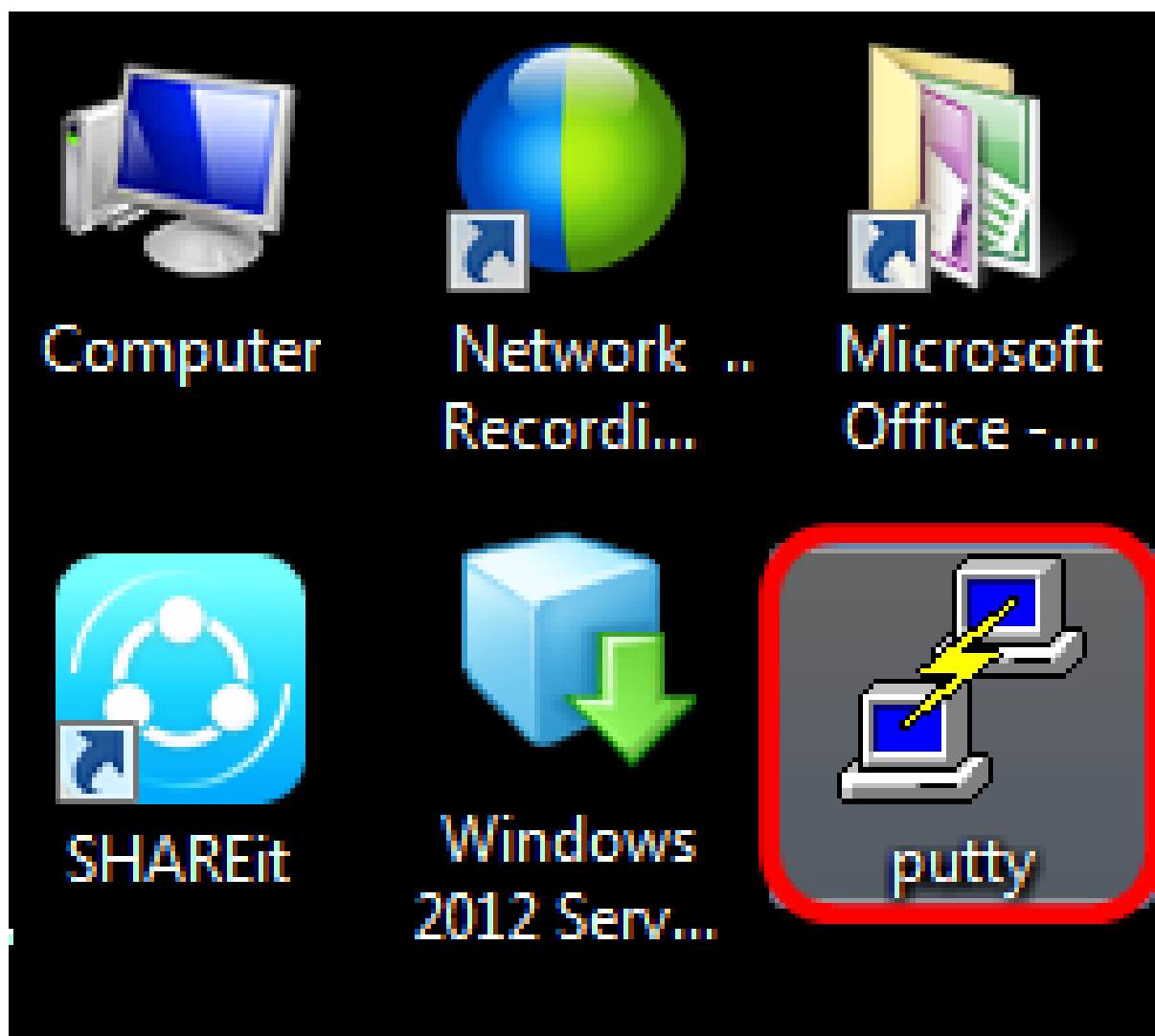
① Note:

ファイルをTFTPフォルダにコピーしてください。

CLIによるファームウェアのアップグレード

手順 1

コンソールケーブルを使用してコンピュータをCisco Business 250または350シリーズスイッチに接続し、ターミナルエミュレータアプリケーションを起動してスイッチのCLIにアクセスします。

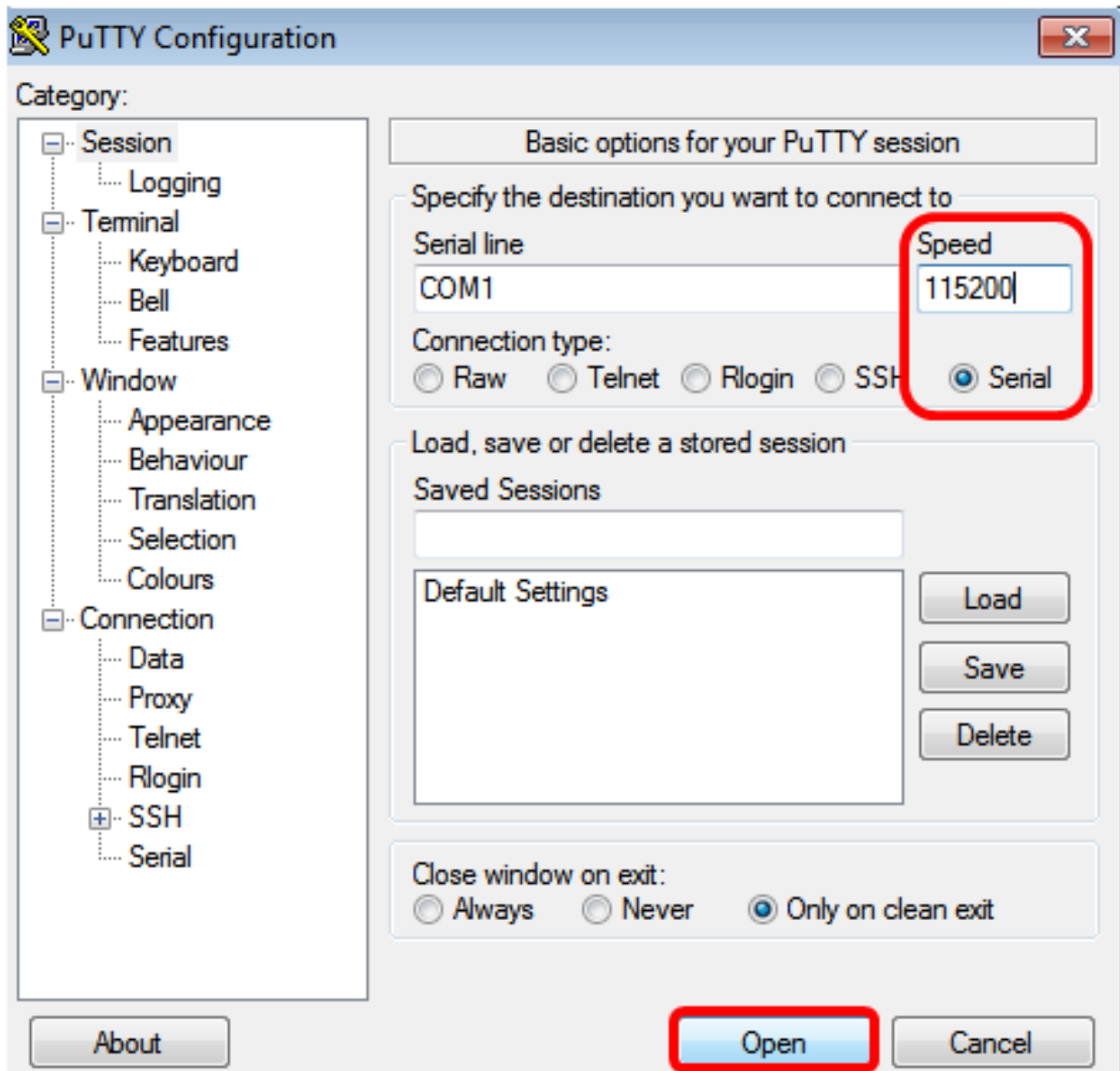


① Note:

この例では、ターミナルエミュレータアプリケーションとしてPuTTYが使用されています。

手順 2

PuTTY Configurationウィンドウで、Connection typeにSerialを選択し、115200のシリアル回線のデフォルト速度を入力します。次に、Openをクリックします。



手順 3

独自のユーザ名とパスワードを使用してスイッチCLIにログインします。

```
User Name: cisco
Password: *****
```

① Note:

デフォルトのユーザー名とパスワードは、cisco/cisco です。この例では、デフォルトのユーザー名ciscoと個人パスワードが使用されています。

手順 4

CLIを起動したら、次のように入力して特権EXECモードに入り、スイッチが現在使用しているファームウェアのバージョン、イメージがインストールされている場所、およびその他の情報を確認します。

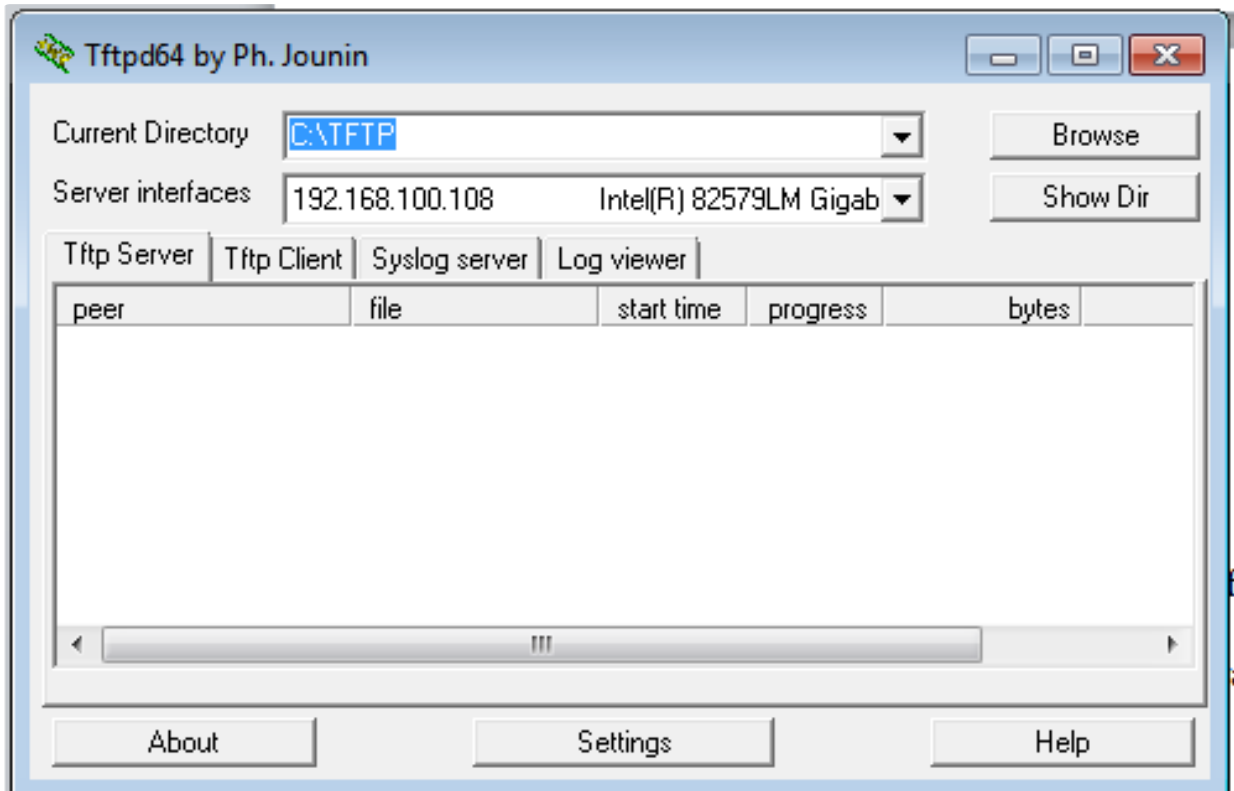
```
CBS350#sh ver
```

- スイッチはファームウェアバージョン2.2.5.68を実行しています
- イメージはフラッシュディレクトリにインストールされます
- MD5ハッシュ文字列
- イメージがスイッチにロードされた日時

```
SG350X#sh ver
Active-image: flash://system/images/image_tesla_Sx250-350_Sx350X-550X_2.2.5.68.bin
Version: 2.2.5.68
MD5 Digest: 43747e9a3a4fd6624625b6624153f7a3
Date: 04-Aug-2016
Time: 19:36:27
```

手順 5

アップグレードプロセスに備えて、TFTPフォルダを参照し、バックグラウンドでTFTPサーバを実行します。



手順 6

次のように入力して、TFTPフォルダからスイッチに最新のファームウェアファイルをアップロードします。

```
tftp://192.168.100.108/image/image_cbs_ros_3.0.0.69_release_
```

① Note:

この例では、使用されているTFTPサーバのIPアドレスは192.168.100.108です。

```
SG350X#boot system tftp://192.168.100.108/image/image_tesla_Sx250-350_Sx350X-550X_2.2.8.4.bin
```

ステップ7

操作が完了したことがページに表示されるまで待ちます。

```
SG350X#tftp://192.168.100.108/image/image_tesla_Sx250-350_Sx350X-550X_2.2.8.4.bin
25-Apr-2017 08:23:08 %COPY-I-FILECOPY: Files Copy - source URL tftp://192.168.100.108/image/image_tesla_Sx250-350_Sx350X-550X_2.2.8.4.bin destination URL flash://system/images/image_tesla_Sx250-350_Sx350X-550X_2.2.8.4.bin
25-Apr-2017 08:27:36 %COPY-N-TRAP: The copy operation was completed successfully
Copy: 26353291 bytes copied in 00:04:27 [hh:mm:ss]
```

手順 8 (オプション)

新しいイメージファイルが正常にロードされたことを確認するには、次のように入力してスイッチのファームウェア情報を再度確認します。

```
CBS350#sh ver
```

手順 9

ファームウェア情報を確認します。ページには古いイメージファイルと新しいイメージファイルの両方が表示されますが、再起動後に古いイメージファイルが非アクティブになり、再起動後に新しいイメージファイルがアクティブになることを示します。

```
SG350X#sh ver
Active-image: flash://system/images/image_tesla_Sx250-350_Sx350X-550X_2.2.5.68.bin
Version: 2.2.5.68
MDS Digest: 43747e9a3a4fd6624625b6624153f7a3
Date: 04-Aug-2016
Time: 19:36:27
Inactive after reboot
Inactive-image: flash://system/images/image_tesla_Sx250-350_Sx350X-550X_2.2.8.4.bin
Version: 2.2.8.4
MDS Digest: d75d9f2e1a06e99ba793af2418470df1
Date: 21-Dec-2016
Time: 22:03:09
Active after reboot
```

手順 10

次のように入力して、スイッチをリブートします。

```
CBS350#reload
```

手順 11

メッセージプロンプトでYと入力して続行します。

```
SG350X#reload
This command will reset the whole system and disconnect your current session. Do you want to continue ? (Y/N) [N] Y
```

手順 12

システムをシャットダウンして再起動する間、数分待ちます。

手順 13

システムがリブートしたら、スイッチに再度ログインします。

```
User Name:cisco
Password:*****
```

手順 14

次のコマンドを入力して、新しいイメージファイルが現在アクティブであるかどうかを確認します

```
CBS350#sh ver
```

手順 15

表示されているイメージ情報を確認します。アクティブなイメージが最新バージョンであることが表示されます。

```
SG350X#sh ver
Active-image: flash://system/images/image_tesla_Sx250-350_Sx350X-550X_2.2.8.4.bin
  Version: 2.2.8.4
  MD5 Digest: d75d9f2e1a06e99ba793af2418470df1
  Date: 21-Dec-2016
  Time: 22:03:09
Inactive-image: flash://system/images/image_tesla_Sx250-350_Sx350X-550X_2.2.5.68.bin
  Version: 2.2.5.68
  MD5 Digest: 43747e9a3a4fd6624625b6624153f7a3
  Date: 04-Aug-2016
  Time: 19:36:27
```

これで、CLIを使用してCisco Business 250または350シリーズスイッチのファームウェアが正常にアップグレードされました。

CBS250またはCBS350スイッチに関する詳細な記事をお探しですか？詳細については、以下のリンクを参照してください。

[SNMPの設定](#) [SNMPビュー](#) [SNMPグループ](#) [DHCPイメージアップグレード](#) [パスワードの強度](#)
[TCPおよびUDPの設定](#) [ポート](#) [セキュリティ](#) [時刻の設定](#) [Smartportのベストプラクティス](#) [トラブルシューティング：IPアドレスなし](#) [Smartportのトラブルシューティング](#) [リンクフラッピングのトラブルシューティング](#) [VLANの作成](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。